

海外よりも国内で勝負。 高付加価値事業で飛躍を目指す

課題

海外進出を模索するも 課題の多い現地の状況

アツミ工業株式会社は昭和41年の創業以来、一貫して、金属部品の切削加工を手がけてきた。

広範な扱い分野のなかでも、輸送用機器部品、産業用機械部品などの高精度の切削加工に強みをもち、さらに難削材のチタン・超耐熱合金（インコネル：ニッケルを主体としたクロム、鉄、炭素等を含む合金）の切削も行っており、平成27年には航空宇宙、防衛産業に特化した品質マネジメントに関する国際規格、JISQ9100も取得して航空宇宙産業に進出。平成30年には浜松市で開催された経済産業省の「ちいさな企業（交流キャラバン）」にも招かれている。

同社は平成24年、大量生産品の生産拠点の海外移行の流れのなかで海外進出の打診を受けて検討したことがある。そこで浜名商工会では、経営者に商工会が企画したマレーシアの産業視察研修会を提案。しかし、参加した経営者は、工業団地のインフラ整備、物流システムなど、現地の状況に問題が多いと判断し、海外進出を見送り、国内でより付加価値の高い製品開発に特化した事業計画を策定した。

もっとも、その時点での設備状況では、そうした高付加価値型の製品開発、加工には無理があった。

支援

新たなマシニングセンター導入で 市場拡大、新規事業にも挑戦

同社が、事業方針を国内での高付加価値型製品の開発に特化する方向に変更したことで、商工会では、円高、エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業費補助金制度を紹介し、申請書作成を支援する。

そのなかで、とくに原価分析により、高付加価値型製品、低付加価値型製品を分析し、国内で高付加価値型製品に特化するための事業計画を立案した。

そうした支援を基に、同社ではシリンダーブロック、ミッションケースなどのエンジン部品、EV電源ボックス、船外機、産業用ロボットなどの部品加工用に、他社では困難な5軸マシニングセンター導入を実現。

その結果、従来は多工程で行っていた作業が2工程で行えるようになり、段取り削減、治具数削減、納期短縮、精度向上などのメリットがもたらされ、以前に先行投資で建設し



同社の新工場内

た新社屋が精密加工用の恒温環境対応だったこともあり、新規顧客の開拓や取引先からの高い評価につながった。

今後は精密加工に加え、たとえば3Dプリンターと精密加工の複合加工に加え、航空宇宙産業のなかでも、より高精度・高付加価値が評価される宇宙産業にもチャレンジしたいと考えている。

支援の経過

期間	支援内容
H26年5月	ものづくり補助金の申請支援
H29年3月	持続化補助金の申請支援
6月	経営力向上事業費補助金申請書作成支援
H30年2月	経営革新計画の策定支援
6月	ものづくり補助金の申請支援

会社概要

会社名：アツミ工業株式会社
 所在地：浜松市西区雄踏1-6-25
 電話番号：053-592-1934
 URL：http://www.atsumikogyo.jp
 代表者名：代表取締役 渥美友茂
 創業年：昭和41年
 年間売上高：1億9663万円（平成29年）
 従業員数：18名
 商工会名・担当者名：浜名商工会・山田利明